

## 新理事会発足

### 就任のご挨拶

学校法人 中央大学  
理事長 大村 雅彦

このたび、本学の理事長に再任されました。私は中央大学法学部法律学科に学んだ後、母校の教育・研究に従事してまいりました。学部時代を駿河台キャンパスで過ごし、卒業の翌年（1978年）に多摩キャンパスがオープンしました。それからすでに42年が経過しており、この年月は本学教員としての私の半生とちょうど重なります。

さらに、英吉利法律学校の創立時から数えますと、中央大学は135年にわたる輝かしい歴史と実学の伝統を有しており、各種の難関国家試験に強く、ことに日本の法曹界では本学卒業生がその大きな割合を占めてきました。これは誇るべきことです。しかし、単に資格試験合格者数が多いことだけが中大の特色ではありません。創立者増島六一郎は明治初期にイギリスに留学し国際的に法律業務を行ったグローバル人材でありましたし、長谷川如是閑のような気骨ある言論人も生みだしました。現在では、グローバル企業の経営者、政界のリーダー、国家公務員・地方公務員として活躍されている方々、スポーツ界の一流選手たち、さらには芸術・文化の分野における著名人なども輩出しています。このように本学がこの国を支える多様な人材を各界に多数送り出している現状は、「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神の豊かな実りを示しているといえます。

しかし、社会はどんどん変化していきます。伝統の上に安住するのではなく、伝統の強みを基礎として、社会の進展を見据えた改革を実行していく必要があります。2016年にスタートした中長期事業計画「Chuo Vision 2025」は、本学の伝統をきちんと維持しつつ、これからの時代に求められる本学の新たな魅力を生み出していこうとするものです。

この計画に沿って、2019年には国際経営学部と国際情報学部が開設されました。2020年には多摩キャンパスに国際教育寮・グローバル館が竣工し、2021年には学部共通棟も竣工予定です。都心では、2023年に向けて、茗荷谷新キャンパスへの法学部の移転と駿河台新キャンパスへの法務研究科・戦略経営研究科の移転をはじめ、中央大学の将来の姿がみえつつあります。スポーツ振興、グローバル化推進など、重要な施策も推進していかなければなりません。

本年は新型コロナウイルスの及ぼす影響により、各大学はオンライン授業を余儀なくされています。本学もこれを大きな契機としてICTの充実を図ることが、今後の教育・研究を推進する上で必要不可欠です。そのためのインフラ整備も法人の責務であると考えています。

大学をよくしたいという中大関係者の思いを一つ（One Chuo）にして、「Chuo Vision 2025」の実現をはじめとする大学改革へのご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



常任理事 松丸 和夫 常任理事 大貫 裕之 常任理事 石井 靖 常任理事 松本 雄一郎 常任理事 清川 昭



理事 大谷 隼夫 理事 若江 健雄 理事 行方 美彦 理事 熊坂 隆光



理事 牧 俊夫 理事 栗原 孝至 理事 大木田 守 理事 大日方 邦子



総長 酒井 正三郎 学長 福原 紀彦 法学部長 猪股 孝史 経済学部長 山崎 朗



商学部長 渡辺 岳夫 理工学部長 樫山 和男 文学部長 宇佐美 毅 総合政策学部長 青木 英孝



国際経営学部長 河合 久 国際情報学部長 平野 晋 法務研究科長 小林 明彦 事務局長 室井 庸次郎

- 理事長 大村 雅彦
- 総長 酒井 正三郎
- 学長 福原 紀彦
- 常任理事 石井 靖
- 常任理事 大貫 裕之
- 常任理事 清川 昭
- 常任理事 松丸 和夫
- 常任理事 松本 雄一郎
- 理事 青木 英孝
- 理事 猪股 孝史
- 理事 宇佐美 毅
- 理事 大木田 守
- 理事 大谷 隼夫
- 理事 大日方 邦子
- 理事 樫山 和男
- 理事 河合 久
- 理事 熊坂 隆光
- 理事 栗原 孝至
- 理事 小林 明彦
- 理事 行方 美彦
- 理事 平野 晋
- 理事 牧 俊夫
- 理事 室井 庸次郎
- 理事 山崎 朗
- 理事 若江 健雄
- 理事 渡辺 岳夫